

ふみびと

第231号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

いつの時代も 心、動かすもの

たった一枚の紙

とある商店街で閉店した豆腐店の貼り紙がSNSで話題となっているそうです。

65年間営業してきたその豆腐店の86歳の店主が書いた一枚の貼り紙。

足腰の不調により、長年続けてきたお店を断腸の思いで閉店することになり、「閉店のご報告」として店頭に掲り出した紙には、その店主の思いと、それに応えるように近隣の住民のメッセージ

が寄せられていました。

子どもの頃にお使いで通ったという方のメッセージなど、店主と利用客のやりとりのようなその一枚の紙には「mineの原点」と言う人もいたそうです。

店主やたくさんの人たちの長年の思い出がこの一枚の紙に集約されたような気がします。 たった一枚の紙。そこに人生や人の思いが込められる。



紙、そして思いを込めて書くということの「力」を感じさせてくれました。

今はSNSを通じて日本中、世界中の人々と繋がることができません。見ず知らずの何万人もの人から励まされたり、元気をもらうこともできません。

それでもたった一枚の紙に、たった一つの地域の人たちが書いてくれたたった十数件のコメントでも、時にそれを超える

感動が生まれることもまたあります。

スーパーでも豊富な種類の豆腐が買え、インターネットでもやりとりができる時代。それでも昔ながらの豆腐店で豆腐を買い、昔ながらのやりとりで心を交わす。

そんな「昔ながら」のやりとりがインターネットで話題になるのも今の時代らしいのかもしれない。

たった一枚の紙から生まれる感動。

どんなに時代が変わっても人の心を動かすものは変わらずにいてほしいものです。

風船便

いつでも誰でも参加できますが、風船便の受取は新規の方へ優先されます。送付方法は簡単で、下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。事務信同の筒に流し込み、封下まで流し交わります。



次回発送日

次回発送日は、7月15日(祝日)のため、7月16日(火)です。

送りたいお手紙がある場合には、発送日の2日前(7月14日)までに事務局に到着することを確認の上、ポストに投函してください。

8月の発送予定日はお盆も通常通り発送いたします。通常通り8月15日の発送と8月31日の発送となります。

生活には、習慣と刺激のどちらもが大切だ。毎日同じ事の繰り返しばかりでは飽きてくるし、新しいことばかりでは疲れてしまう。たとえば、朝食のメニューは定番のものを決めてしまう。今日は何を食べようかと悩む負担をなくしてしまうのだ。かといって、一年中、全く同じトーストとコーヒー

習慣の中に変化

ばかりでは飽きがくる。だから、月に一度くらい、コーヒーを緑茶に変えてみたり、食べたことのないジャムを試してみたり、たまに使う食器を変えたりするのもいいだろう。他にも、休日の散歩コ

スそ、季節に一度だけ変えるなんていうのもおすすだ。自分がどのくらいの頻度で変化を求めめるのか、探してみるのも楽しい。「なんだか疲れた」とか、反対に「退屈だな」と感じた時には、習慣と新しいことの割合を見直してみる。それだけで、日々がより快適になるかもしれない。



梅雨真っ最中の今、豪雨情報が各地で出ておりますので、村民の皆様も十分気を付けてください。そして、梅雨の時期は雨音を聞きながら手紙の時間も楽しんでください。